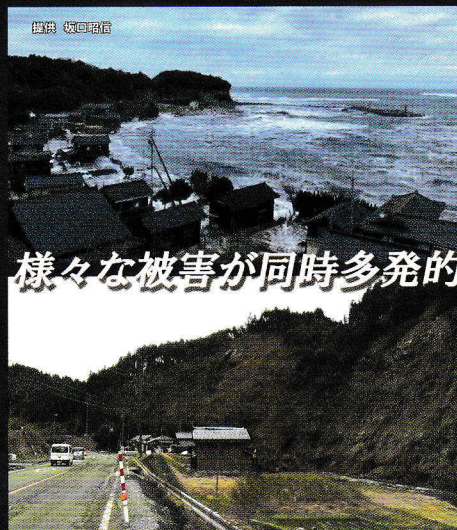


能登半島の地震 震度7

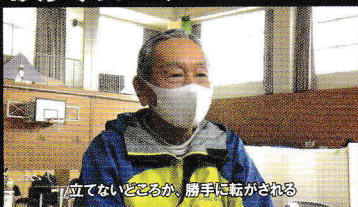
広い範囲で起こった強い揺れ

一般向け

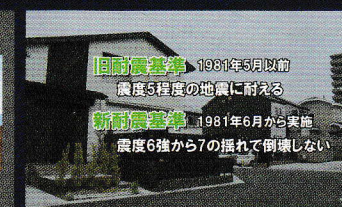
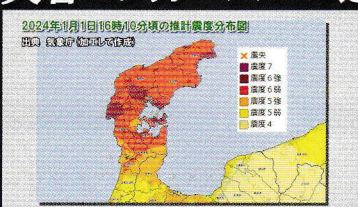
約23分



被災者の声



災害のメカニズムに迫る



監修のことば



東京大学 名誉教授 / 一般社団法人 防災教育普及協会 会長 平田 直

2024年元旦、石川県能登地方をマグニチュード（M）7.6の地殻内地震が襲いました。この地震は、2020年12月から続いていた一連の地震活動の中で発生した地震の一つで、日本列島を形成する陸のプレート内で発生した最大規模の地殻内地震でした。元日の地震では、能登半島を中心として広い領域で強い揺れとなり、石川県だけでなく、新潟県、富山県、福井県にも大きな被害がもたらされています。

このM7.6の地震では、能登半島の北西部では最大4mに及ぶ大きな隆起が観測され、広い範囲の沿岸部で海岸線が数百メートル沖合に移動し、「陸化」が観測されました。震源断層は陸域だけでなく海域にも広がり津波が発生しました。震源が海岸に非常に近かったため、津波がすぐに押し寄せ、人々の避難を妨げました。輪島市で大規模地震火災が発生したことも、被害を拡大させた要因になりました。能登半島では各地で強い揺れや土砂崩れに見舞われ、電気や水道、通信などのライフラインが途絶えました。輪島市、珠洲市、能登町など、石川県の能登半島北部の各市町で、道路が寸断され、長期間孤立状態が続きました。奥能登地域は、高齢化や人口減少が進む過疎地域で、住宅の耐震化が遅れていたことで被害が大きくなったと考えられます。

日本のどこでも、このような大きな地震が起きる可能性があります。いつ地震が来ても安全に過ごせるよう、日頃からしっかりと備えておくことが大切です。

一般向け/約23分

能登半島の地震 震度7 広い範囲で起こった強い揺れ

企画意図

2024年元日の「令和6年能登半島地震」は、家屋の倒壊や道路の寸断、津波や土砂崩れ、地震火災、液状化など、様々な事象が同時多発的に起こる複合災害となりました。特に、木造家屋の倒壊から多くの方が亡くなるという、これまでも起こった悲劇がまた繰り返されてしまいました。

本作品では、今回の地震のメカニズムや特徴についてイラストやCGで解説し、地震が起きたときの人々の実態を、被害映像と被災者のインタビューを交えて紹介します。さらに沿岸部の津波被害、輪島市の大規模火災、土砂災害、液状化の被害の実態を紹介します。そしてこれらの教訓から、今後日本で起きる大地震から命を守るための備えとして、住宅の耐震化や家具類の転倒防止について中心に解説します。

大地震により日常を奪われ、死に直面した被災者の方々の思いを伝えながら、「命を守るためにどう備えたらよいか」と多くの方が考え、行動するきっかけになることを目指します。

作品の概要

2024年1月1日午後4時10分頃、石川県能登半島を震源とするM7.6の地震が発生。正月休みに家族が集って穏やかな時を過ごしている最中でした。

この地震は建物倒壊、津波、火災と、様々な災害が同時多発的に起こる複合災害となり、石川県を中心に広範囲に大きな被害をもたらしました。

■今回の地震の特徴とメカニズム

この地震の大きな特徴は、「大きなプレート内地震だったこと」「能登半島が大きく隆起したこと」「陸と海の境界部の下に震源域があったため、津波が発生してすぐに沿岸に押し寄せたこと」の三点です。

実地調査を重ねた専門家の解説をもとに、これら特徴について統計や図解、被災地の実際の様子を交えながら解説していきます。

■強い揺れ、そのとき何が起きたか？

珠洲市では12分間に三度の大きな揺れに見舞われ、多くの家屋や店舗が倒壊しました。当時、市内では建物の耐震化が進んでいない状況で、少なくとも111人が「家屋の倒壊」で亡くなっています。

そのとき何が起きたのか？被災者の証言を聞き取り、当時の過酷な状況を辿っていきます。

■複合災害－津波、火災、土砂災害、液状化

激しい揺れの直後、津波の第一波が珠洲市や輪島市などの沿岸部に到達し、何度も押し寄せました。輪島市の中心部では地震直後に火災が発生し、炎が街を飲み込みました。また、石川県、富山県、新潟県の広い範囲で土砂災害や液状化が発生しました。

この地震では家屋の倒壊に加えて、こうした様々な災害が相次ぎ、複合災害の様相を呈したのです。

なぜそれぞれの被害が拡大したのか、現地の状況と発生のメカニズムを細かく検証します。

■今後の大地震に備える

今後起き得る地震への対策として、自宅の耐震化が重要です。家屋の耐震診断や耐震補強、家具の固定の方法を詳しく解説します。

現在、日本中のどこで大地震が起きても不思議ではありません。一人一人が命を守るために何ができるのかを考え、行動することが大切なのです。

監修

監修：東京大学 名誉教授
一般社団法人 防災教育普及協会 会長
平田 直

スタッフ

企画・制作統括：高木 裕己 撮影：照屋 真治
プロデューサー：堤 謙一 小宮 康広
脚本・演出：川崎 けい子 イラスト・CG：正者 章子

価格

ライブラリー価格 本体 ¥68,000 (税込 ¥74,800)

制作・著作/株式会社 映学社

- DVD [カラー] ※字幕版も収録されています
- 2024年・映学社作品

○ 株式会社映学社が製作する映像、DVD、ロゴ、イラスト、チラシ、ウェブサイト等全ての著作物の著作権は、映学社もしくは関係権利者等の著作権者に帰属しています。これらの著作物を権利者の許諾を得ずに、複製、転載、改変、譲渡、配布、公衆送信（送信可能化を含む）、放映等に利用することは原則として法律により厳しく禁止されています。

○ 本チラシで紹介しているDVDは、DVDビデオディスクです。CD-ROMプレイヤーではご覧になれません。必ず市販のDVDビデオプレイヤーでご覧下さい。なおDVDビデオは、映像と音声を高密度に記録したディスクです。詳しい再生上の取扱いについては、ご使用になるプレイヤー、テレビなどの取扱説明書をご覧ください。

●お問い合わせ、お買い上げは……



株式会社 映学社

EIGAKUSYA CO.,LTD.

〒160-0022 東京都新宿区新宿5丁目7番8号らんざん5ビル
TEL: 03-3359-9729 (代表) FAX: 03-3359-4024
info@eigakusya.co.jp
https://www.eigakusya.co.jp/